

平成21年度 体感!!パークレンジャー通信

第2回 スノーシューで生き物調査

平成22年1月30日(土)10:00~15:00
 場所:支笏湖ビジターセンター、紋別岳林道周辺



平成21年度体感!!パークレンジャー第2回の活動には札幌、千歳、苫小牧から集った小学生21名が参加しました。「レンジャーの仕事を知り、パトロールを行うこと。そして自然を調査し、その結果をビジターセンターの展示物にすること」が本日の任務です。参加者は冬のレンジャーの業務について学び、紋別岳林道のパトロールを行いました。また午後には支笏湖周辺に訪れる野鳥とエゾシカの痕跡調査を行いました。それぞれ、調査報告をするとともに、インフォメーションカードを作成しビジターセンターにお渡しして本日の任務を終了しました。



スノーモービル乗り入れについて説明を聞く

■紋別岳林道パトロール■

支笏洞爺国立公園には、自然環境に悪影響を与えることから、スノーモービルなど乗り入れが規制されている区域があることを自然保護官から学びました。一見雪上を走行しているだけに見えるスノーモービルも、雪の下の植物を圧迫し枯らせてしまうことがあることを知り、参加者は考えさせられた様子でした。説明を受け、紋別岳に続く林道のパトロールに出掛けます。ここにはスノーモービルの走行跡は見つからず、代わりに生き物の痕跡を発見しました。



生き物の痕跡を発見!



エサ台にたくさんの鳥が訪れる

■支笏湖に訪れる野鳥調査■

冬になると木々の葉が落ち、野鳥が見やすくなります。そこで、支笏湖に訪れる野鳥の調査を行いました。双眼鏡の使い方をマスターし、カウンター片手に支笏湖ビジターセンターに設置されているえさ台に訪れる野鳥の数を数えていきます。その数、小鳥で10分平均100羽程にものぼりました。その種類もシジュウカラ、ゴジュウカラ、ツグミ、ヒガラ、ヒヨドリなど9種。結果を報告し、写真やイラストを添えて、これらの野鳥についてご案内するインフォメーションカードを作成しました。



ヒヨドリ



エゾシカの食痕

■支笏湖周辺エゾシカ調査■

支笏湖周辺にはたくさんのエゾシカが生息し、食べ物が乏しい冬には木の皮を食べることを学びました。特に木の皮は幹まわりの全てを食べられてしまうと、木が枯れてしまいます。参加者は写真記録を撮りながら、エゾシカの痕跡調査を行いました。その結果、食痕56か所、フン8か所、足跡4か所、角のとぎ跡1か所を発見しました。調査結果から気づいたことをまとめ、ビジターセンターの来館者にエゾシカの痕跡についてお伝えするインフォメーションカードを作成しました。



フンを観察